



ジェンダーバイアス(固定的な性別役割分担意識)にとらわれず、自分らしさを大切に!



息子介護にありがちなことを知って備えよう

～「家庭生活応援セミナー(男性介護編)」…ポイントは男女の傾向の違いと「介護の基礎」～

息子による親の介護をテーマにした「宇部市家庭生活応援セミナー」を令和4年12月3日、ココランド宇部で開催しました。

「息子介護」研究の第一人者、大阪公立大学大学院の平山 亮(ひらやまりょう)准教授を講師にお迎えし、男性が親を介護する際の注意点や、家族で協力するために必要なことなどを学びました。

平山先生は、介護を分担するポイントとして、介護そのものではなく、「**介護の基礎**」をシェアすることを提案。

「介護の基礎」とは、食事の支度や洗濯など、介護の前提になる家事のこと。

夫婦やきょうだいが共に取り組むことで無理なく分担することが可能となります。

また、親の老いや介護に対する認識に男女差があることについても紹介。

息子は「まだ大丈夫」と考えがちであるため、意図せず、ネグレクト(介護放棄)につながったり、親を「自分より弱い」と考え、その体力差と介護のストレスが虐待につながるケースもある、との指摘も。

最後に、「介護の分担には色々な手法があり、女性男性に関わらず「**介護の基礎**」の部分で介護に貢献することができる。ハンデばかりと思わず、一緒に頑張ってもらいたい。」

と男性たちに熱いエールが送られました。



～「家庭生活応援セミナー」のダイジェスト版動画をYouTubeで公開中～

過去のセミナーの様子を、分かりやすく動画で紹介しています。令和6年2月まで公開していますので、ぜひ、ご視聴ください。

タイトル	
A 「育休は冒険だ。夫婦で備える男性育休」 ①人事労務部門向け ②事業者向け ③育休取得者向け 育Qドットコム(株) 代表取締役社長 広中 秀俊 氏	17:51
B 「実践! パパの育休シミュレーション」 時短家事コーディネーター 柴田 さちこ 氏	16:01
C 「まだ元気な親と介護・延命・葬儀・相続について話すには」 ファイナンシャルプランナー/終活アドバイザー 中村 恒瑛 氏	20:57
D 「介護を乗り切るための男性の家事力向上術」 時短家事コーディネーター 柴田 さちこ 氏	12:10

動画

R4 家庭生活応援セミナー
宇部市 人権・男女共同参画推進課
6本の動画 0 視聴済 Updated today

YouTube

自分の人生の主役は自分。仕事もプライベートも充実を

～社会人や学生らが一堂に会し、「自分らしいライフ・キャリアを考える交流会」を開催～

「ライフ・キャリア」とは、仕事をはじめ、家庭生活、地域社会との関わり、個人の活動(自己啓発・趣味)など、生活全般において生涯にわたり果たす役割や経験の積み重ねのこと。

自分らしいライフ・キャリアをどう実現していくかを考え、意見交換していく機会を設けるため、令和5年2月17日、(株)キャリアレイズの濱本ひとみさんをファシリテーターとしてお迎えし、ワークショップを開催しました。

市が認定する女性リーダーやこれから就職を控える学生、その他企業関係者などにご参加をいただき、自分らしく働き続けるために苦労したことや、それを乗り切るためにどのようなサポートが必要かなど、オンライン参加者も含め、それぞれの立場から活発な意見が出され、とても有意義なディスカッションとなりました。

終了後には、「自分を見つめ直す良い機会となった。」「男性や管理職の振り返りにも有益だった。」といった声が寄せられました。



無意識に決めつけたり、押しつけたりしていませんか?

～男女共同参画の取組を進展させるには、「アンコンシャス・バイアス」の解消から～

「アンコンシャス・バイアス」とは、自分自身は気づいていない「ものの見方やとらえ方のゆがみや偏り」を言い、自分では意識しづらいため、「**無意識の偏見**」と呼ばれます。

「家事・育児は女性がすべき」、「共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先すべき」、「男性なら残業や休日出勤するのは当たり前」、「実の親、義理の親に関わらず、親の介護は女性がすべき」、「育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない」など、これらの考え方は社会全体に与える影響も大きいことから、**性別による無意識の思い込み**に早く気づき、これを解消していく必要性が高いと考えられています。



無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)とは
「アンコンシャス・バイアス」の解消に向けて

動画で取り上げたアンコンシャス・バイアスのテーマとポイント

政治分野にも女性の声を

～内閣府がシンポジウム開催～

我が国では、国、地方ともに、女性議員の割合が非常に低いことが大きな課題となっています。

女性議員に対するハラスメントの防止や、議員活動と家庭生活との両立など、女性の政治参画の拡大に向けた方策について、さまざまな観点から活発な議論を行う必要があります。

政治分野への女性の参画拡大に向けたシンポジウム

3月27日(金) 13:00-16:30

ミモザの花を贈ろう

～「国際女性デー」に寄せて～

1975年の国際婦人年に国連で提唱された「**国際女性デー**」。

毎年3月8日は「**ミモザの日**」とも呼ばれ、親しまれています。

